

## 議 事 録

公開・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">一部公開</span> ・非公開	非公開 部 分 理 由				個人情報にかかるとの部分
				保存期間	30 ( ) ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和4年8月24日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主査 上条 由実 印

会議等の名称	令和4年度 第5回市民まちづくり会議	開催日時	令和 4 年 8 月 23 日 (火) 午前 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">午後</span> 6 時 30 分～ 午前 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">午後</span> 8 時 00 分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、大谷真宙、小夫真、倉嶋智彦、坂口永一、田中隆、篠原博文 柘植香織、中澤玄三、花岡裕子、村山弘子、鈴木絵美、水間源  大塚企画政策係長、上条 (傍聴人あり)		
欠席者	荻原猛、島田直政、竹内直弘、柳橋悠香		

議 題	(事務局) 連絡事項  (グループワーク) まちづくり班、シティプロモーション班に分かれそれぞれグループワークを実施	(配布資料)  別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を簡条書き)		
次回への検討事項		
次回開催	(日時) 令和4年9月20日 18時30分から	(場所) 本館2階全員協議会室
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
事務局から、当日使用する資料については、早めに提出いただくように依頼する。 各グループワークの内容は別添のとおり		

## 市民まちづくり会議（まちづくり班） 議事録 R4.8.23

### （1）ひだまりの家プロジェクト第一弾企画概要について説明

#### WHY・GOALについて

- ・異議なし

#### WHEN・WHEN 2

- ・第一候補日 11月20日（日） 午後1時～3時
- ・第二候補日 11月13日（日） 午後1時～3時
- ・第三候補日 11月20日（日） 午前10時～12時

#### WHERE

- ・滋野コミュニティーセンターが第一希望。
- ・全館貸切する。事前の準備のため2時間くらい前から貸切する。
- ・予約等は委員から直接行う。

#### WHO

- ・まちづくり班のメンバーが主体で、シティプロモーション班にも手伝ってもらうように依頼する。
- ・企画振興課もお手伝いをする。

#### WHOM

- ・不登校者とその親がターゲットだが、あまり絞らない方がよい。

#### WHAT

- ・親：竹内延彦さんの講演や対話交流会を開催する。  
講演テーマについては以下を中心に依頼する。  
「東御市の子どもの居場所についての意見」  
「不登校の子どもを持つ親の考え方について（事例など踏まえて）」  
「発達障害に対する理解（親として・地域として）」  
対話交流会については、相談などに乗ってもらえるような形を考えたい。  
依頼については、子ども家庭支援室を通して委員からする。
- ・子：スライムづくりなど遊びを重点的に行う。

#### HOW

- ・宣伝について  
市報とうみの情報コーナーのホワイトボードに掲載⇒11月号に掲載なので、9月の次回の会議時に原稿を確定させる。  
ビラを作成・配布⇒ビラ校正は委員が行う。配布場所については次回会議で検討。

#### HOWMUCH

- ・費用について  
竹内さんの講演及び地区公民館の使用については無料。  
イベント保険の加入が必要。その費用をどこから捻出するか。  
企業の協賛を得られないか、委員が確認する。  
子ども家庭支援室の「居場所づくり補助金」を申請できないか、企画振興課で確認す

る。

(2) 全体を通して

- ・ 8月に上田市青年会議所主催の「こどもカフェ」が開催された。  
中学生以下は無料で、その他の参加者は500円の参加費をとる方式だった。  
お弁当の配布もあった。やり方は参考になるのではないか。
- ・ 田中商店街の駄菓子屋を利用して、子どもの集まる場所をつくってはどうか。

## 市民まちづくり会議（シティプロモーション班） 議事録 R4.8.23

シティプロモーションのグループでは、自転車（サイクリング）を活用したプロモーションをしていくことで、何を売りにしていくのか話し合い、現場での試走も行ってきました。その中で、まずは何を作り上げていくのか、一旦、委員の目線合わせをしたいと思います。

この取り組みには、委員のみならず市民も巻き込んで、身近な関係人口を増やしていきたい。シェアサイクルを使って、単に来てもらうだけでなく、繋がりが深まるようにしたい。まずは市民から市外へとイベントやサークルの輪を広げていきたい。

地元愛好者の育成が必要、市内における自転車（サイクリング）の文化を振興したい。

今回の取り組みについて外部の意見を聞いてみようと、都内でサイクリングをしている友人を招待してみることにした。結果は、実施には至らなかったのですが、その友人いわく、専用道路の確保や注意喚起看板の設置が欲しいところ。また、車通りの少ないところを選んだとしても、都会にはない側溝があったりと事故のリスクを減らしていくことは難しい。観光面で捉えるところしたことも考える必要があると思う。

また、友人は、現在のプランを聞いて、そもそもなぜ自転車なのかと尋ねてきた。自転車の魅力や場合によっては特典みたいなものを付与していく必要ありと感じた。

試走では、畑仕事をする農家さんと話げできた。こうした人との距離が近く、交流しやすいのが自転車の良いところ。点在するお店や名所の協力を得ながら交流スポットを増やしていきたい。

また、坂道や長距離の移動にはeバイクはとても有効です。アシストの使い勝手の説明なども用意しておくとeバイク初心者にも親切だと感じた。

市内各地の試走を行い、委員の様々な意見を出し合ったので、そろそろエリア・コース、ターゲットを絞り込んでイベント等の計画に移りたい。先に出ていました通り市民を巻き込んだ内容で進められたら良い。

まずは市民が魅力を感じられるような市民向けイベントを開催する。時期は10月初旬、参加者の口コミで取り組みが広がるような仕組みを作りたい。